

四国化成建材 Revitファミリ操作説明書

フェンスファミリ編

目次

- 2ページ：共通事項
- 3ページ：タイプパラメータによる操作
- 5ページ：インスタンスパラメータによる操作
- 9ページ：「大型フェンス_EAF_1型」の配置例

ファミリの仕様

共通事項

◇ 対象とするファミリ

- ・ 大型フェンス GTF 1～8型
- ・ 大型フェンス EAF 1～8型（剣先タイプ含む）、11型、13型、15型、20型、31型、32型
- ・ 大型フェンス ALF 1型（剣先タイプ含む）、
- ・ 大型フェンス TRF 1型
- ・ 大型フェンス ERF 2型（自由支柱、間柱）、ERF 2型 2段（自由支柱、間柱）
- ・ 大型フェンス TBF 1型、3型
- ・ 大型フェンス TNF 1型
- ・ 大型フェンス VNF 1型

◇ 入力の方法

- ・ 2点入力（始点、終点）
- ・ 製品バリエーションに合わせてあらかじめ設定したファミリタイプを、タイプセレクトから選択し配置

※本データは特注品の描画も可能です。標準品、特注品の判別は総合カタログをご覧ください。

主なパラメータ

タイプパラメータによる操作

マテリアル / 仕上	
フェンスマテリアル	SK_SC
ルーバーマテリアル	SK_横ルーバー-P100_フラット_SC
基礎マテリアル	コンクリート、現場打ち - C40

構造	
基礎_W	450.0
基礎_H	500.0

マテリアルグループ

○○マテリアル

パラメータ名にあるパーツ毎にマテリアル設定可能

構造グループ

基礎_W (H)

基礎の各寸法値の設定

Point !

タイプパラメータの前提条件

タイプパラメータは、商品のバリエーション(各型式)に合わせてあらかじめ設定した値を切り替えることで、それらのサイズのタイプを選択できるようにしています。

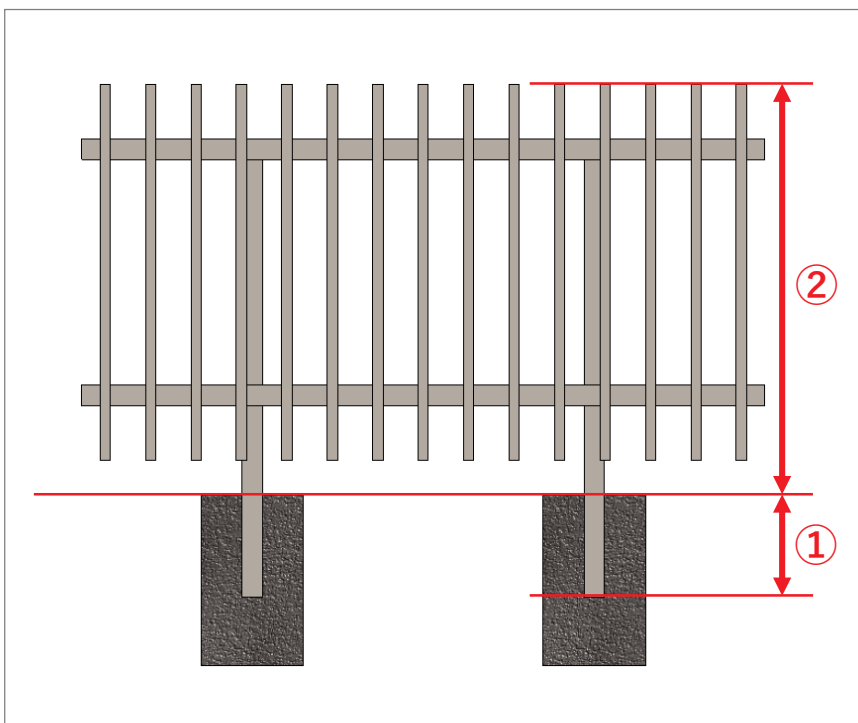
したがって、紹介するタイプパラメータ値によって、実際の製品で設定できない値に変更した場合、ファミリーの形状が崩れる場合があるため注意してください。

主なパラメータ

タイプパラメータによる操作

モデル プロパティ	
支柱_埋込_H	300.0

寸法	
H	1200.0



モデルプロパティグループ

支柱_埋込_H

柱下端の埋込深さ寸法値（図①）

※このパラメータは商品および型式毎に伴う寸法値をあらかじめファミリータイプとして設定しているため変更してはならない。

寸法グループ

H

高さ寸法値（図②）

※このパラメータは商品および型式毎に伴う寸法値をあらかじめファミリータイプとして設定しているため変更してはならない。

Point !

ファミリータイプについて

ファミリーが保持するタイプパラメータ値について、対象となる商品の仕様やサイズをあらかじめ設定しています。

プロジェクトでファミリーを配置する際は、右図のタイプセレクトから型式を選択して配置してください。

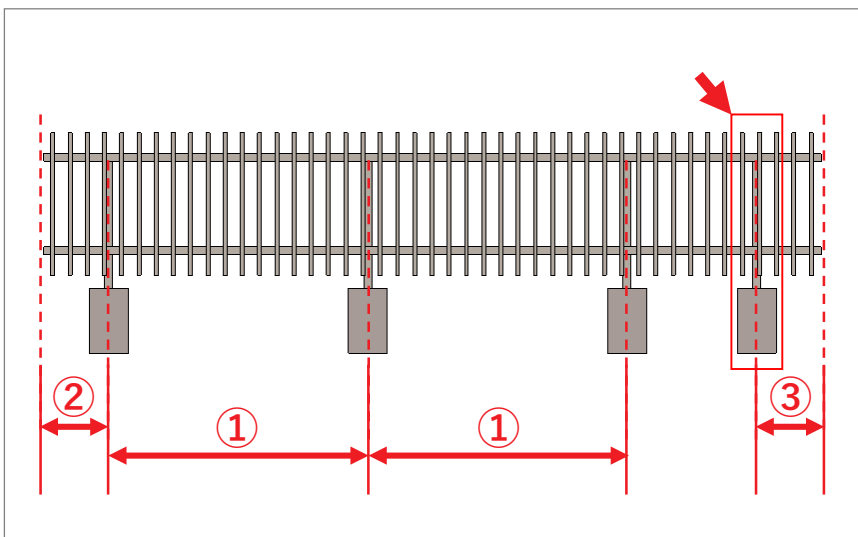
プロパティ	
	大型フェンス_GTF_1型 GTF1-1220SC
検索	
	大型フェンス_GTF_1型
	GTF1-1220SC
	GTF1-1520SC
	GTF1-1820SC
	GTF1-2020SC
	GTF1-2420SC

主なパラメータ

インスタンスパラメータによる操作

拘束	
長さ	6000.0
オフセット	0.0
作業面	レベル:レベル1

セット	
支柱_ピッチ (2000以下)	2000.0
支柱_終端_設置	<input checked="" type="checkbox"/>
---支柱位置オフセットについて---	端部から本体中心に向かってオフセットする値を入力
始端_支柱位置_水平オフセット	500.0
終端_支柱位置_水平オフセット	500.0



拘束グループ

オフセット (Revitの組み込みパラメータ)
ファミリの設置レベルをこれにより調整

セットグループ

支柱_ピッチ
支柱間のピッチを調整可能 (図 ①)

支柱_終端_設置
終端部支柱の設置について あり/なし を切替可能
(図の矢印部)

始端 (終端)_支柱位置_水平オフセット
始端・終端それぞれの支柱位置を調整可能
(図 ② ③)

Point !

支柱ピッチ調整・位置オフセット調整の注意点

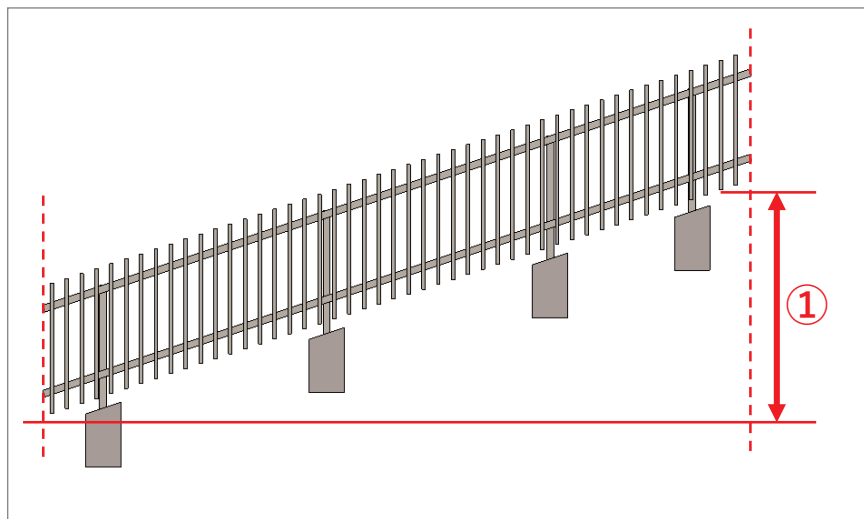
商品の支柱ピッチ及び位置オフセットの値については
カタログに記載の長さを超える対応はできません。

主なパラメータ

インスタンスパラメータによる操作

◇ 傾斜対応商品のみ

---高低差について---	オフセット値を基準に+-で入力
終端_高低差	2000.0
※現在の角度 (最大±40°)	18.43°



セットグループ

終端_高低差

始端レベルを基準として終端レベルの高低差を設定することで、傾斜への対応が可能 (図 ①)
入力パラメータの下段は現在の傾斜角度が表示される

Point !

終端高低差による傾斜の注意点

傾斜の対応は商品カタログ記載の角度までとなります。

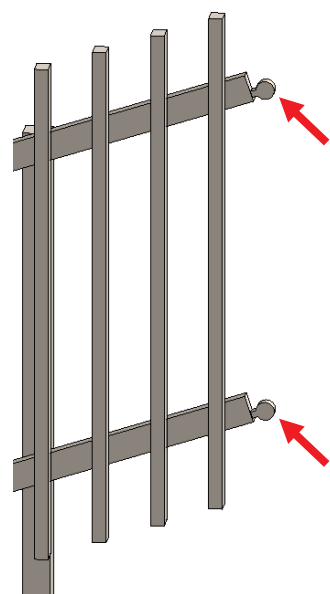
主なパラメータ

インスタンスパラメータによる操作

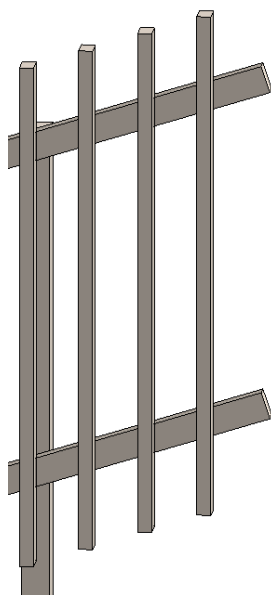
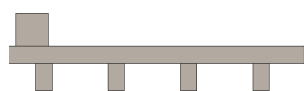
◇ 傾斜対応商品のみ

始端_傾斜ジョイント	<input checked="" type="checkbox"/>
終端_傾斜ジョイント	<input checked="" type="checkbox"/>

傾斜ジョイント



傾斜ジョイント



セットグループ

始端（終端）_傾斜ジョイント

始端・終端それぞれで平地・傾斜の境界部での連結に対応できるジョイントパーツのあり/なしを切替が可能（左図）

主なパラメータ

インスタンスパラメータによる操作

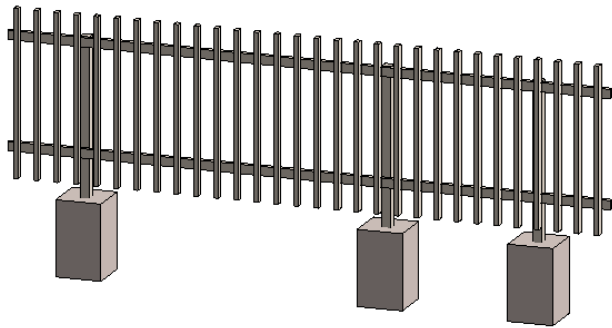


構造グループ

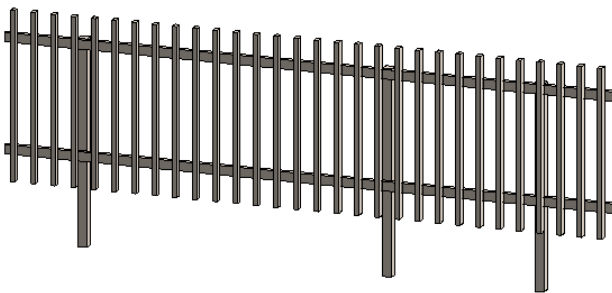
基礎_設置

基礎の設置について あり/なし を切替可能 (左図)

基礎 設置

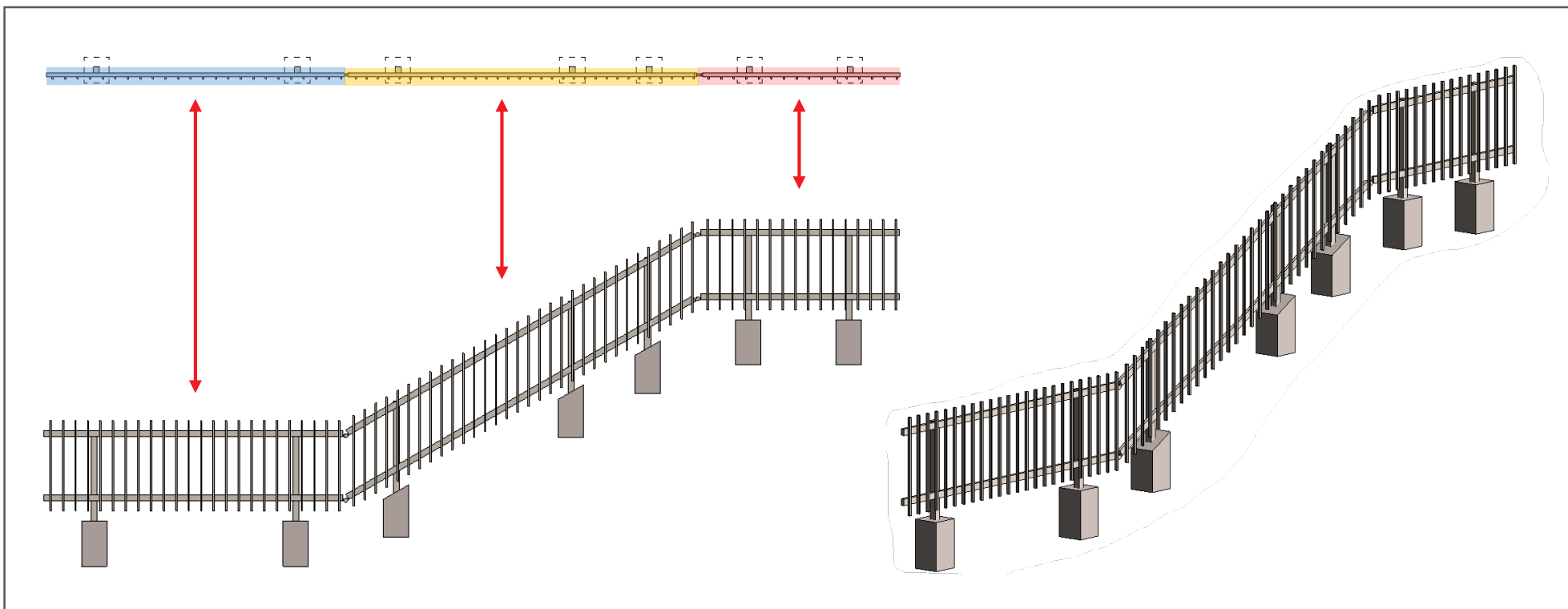


基礎 設置



組み合わせの配置例

「大型フェンス_EAF_1型」の配置例



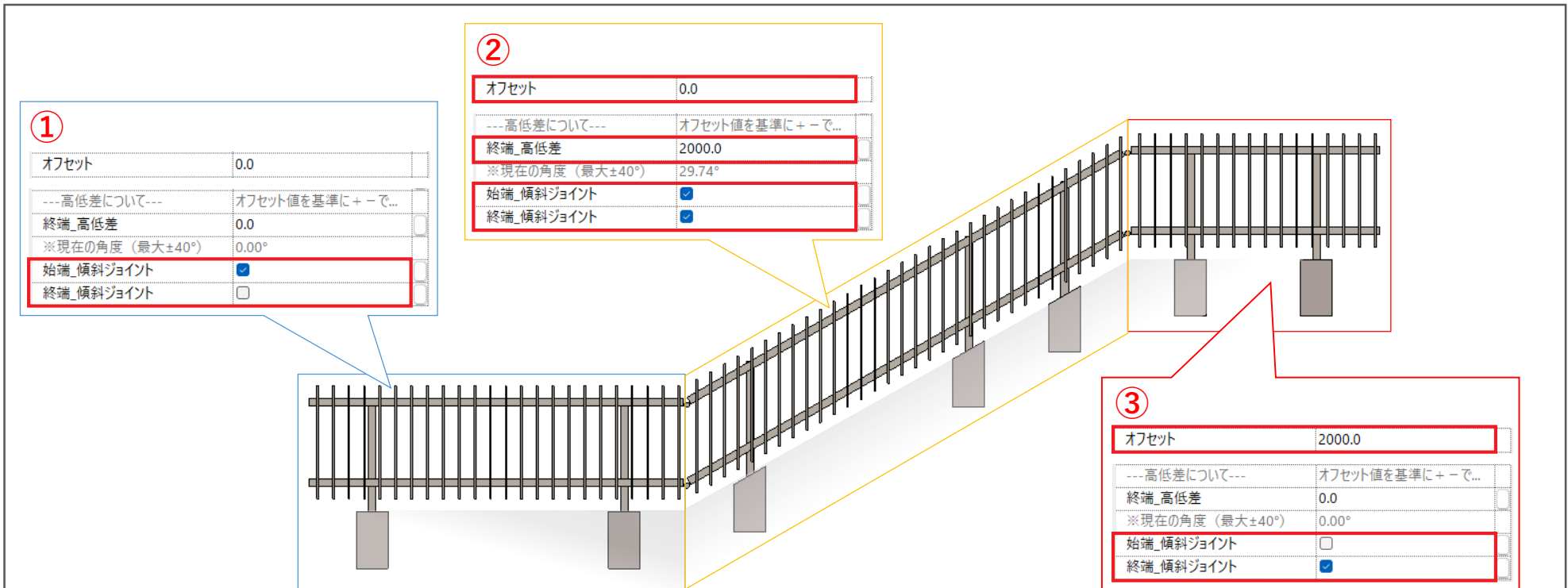
傾斜を含む連続配置について

傾斜対応商品のフェンスファミリーは、端部位置を基準として直線形状で連続配置し、各ファミリーのパラメータを調整することで上図のような傾斜部分を含む連続形状とすることができる。（※コーナー形状となる配置には非対応）

各ファミリー毎の設定は前ページまでの通りとなるが、傾斜を含む連続配置とする場合の確認・設定について紹介する。

組み合わせの配置例

「大型フェンス_EAF_1型」の配置例



傾斜を含む連続配置でのインスタンスパラメータ設定

平面配置では、各ファミリの端点（入力時の始点・終点）を基準とし連続して配置する。

各ファミリの設置レベル（「オフセット」パラメータにて調整）について、傾斜部のファミリは始端側に連続するファミリの値と合わせておく（図②）。また傾斜部ファミリの終端側に連続するファミリは傾斜による高低差を考慮して設定する（図③）。

傾斜部のファミリについて、「終端_高低差」パラメータへ傾斜対応するためのレベル差を設定する（図②）。

傾斜部ファミリ前後の連結部分について、互いのファミリで「傾斜ジョイント」パラメータをチェックONとすることでジョイントパーツによる連結表現が可能（図①②③）。